

3類型	観光資源	通巻番号	2-23-005
地域資源名	肘折温泉	認定日	平成23年9月30日
地域	山形県大蔵村	所管省庁	経済産業省、国土交通省

**事業名:カルデラの中にある秘境肘折温泉の特性と自然環境を活かした現代版湯治システム
開発 ~肘折温泉ワールドの構築~**

会社名:肘折温泉郷振興株式会社 所在地:山形県最上郡大蔵村大字南山451-2
連絡先:TEL:0233-34-6106

事業概要(新たな活用の視点)

- ・湯治場風情や当地の地質学的特徴を活かした体験と参加プログラムを、潜在的ニーズを持つ団塊の世代に提案し、中長期滞在の新しい湯治スタイル(現代版湯治システム)を開発する。
- ・温泉地そのもの、山、川、高原、里山を一つのアトラクションと位置づけ、自然環境アミューズメントパーク(肘折温泉ワールド)を構築していく。
- ・これらの活動を通して「世界ジオパーク」の認定を目指す。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・肘折温泉は、温泉地イコール観光地ではなく、今なお、疲れや病気を癒す「湯治場」であり、その湯治場で強みを活かして非日常性を体感し、何もないことの充足感、充実感を提案していく。
- ・地域の雰囲気、人、自然、環境全てを含め一つのテーマパークとして捉える活性化策は、他温泉地にはなく肘折温泉ならではの、差別優位性を持つものである。

◆市場性

- ・永年にわたり湯治場として山形県内でも狭い商圈を中心に知る人ぞ知るとい温泉場であったが、近年、純粋な湯治客が減少する中で、新たな顧客として首都圏を中心に団塊の世代の客層を想定している。

◆販路

- ・首都圏を中心とした旅行取扱い業者に対するキャラバン隊の派遣、山形県アンテナショップ(東京銀座)、物産展等における定期的なPR活動、趣味、同好会グループに対する知名度浸透のため、カルチャーセンターに対する情報発信を行っていく。
- ・テストマーケティングを兼ねてモデルコースによるモニターツアーを開催し、顧客満足度の調査を行う。そして、顧客情報の管理を行い、各旅館の協力を得ながら、DM等の中に行事案内を挿入するなどの需要開拓を行う。



カルデラの中にある肘折温泉



温泉街での朝市



希少昆虫のいる男沼

地域資源における関係事業者との連携

- ・特に、旅館組合と一体となって取り組むことが重要であり、新たな料理メニュー開発、さらには接客向上や、旅館統一サービスなどの取組を展開し、大きなムーブメントになるよう、誘客委員会制度等を設け連携を深めていく。
- ・当社が肘折温泉全体の観光をマネジメントし、地域全体の振興につながるよう常に考え、リーダーシップの発揮に努めていく。
- ・その他、大蔵村(行政)や村観光協会、肘折温泉地域協議会、JA山形もがみ(大蔵支店)、農業者とも連携を強めていく。